令和７年度
地域と学校の連携・協働へ向けた研修会

【日 時】 令和７年８月２７日（水）１３:３０～１６:１５

【会 場】 グリーンヒルズ津山　リージョンセンター

地域学校協働活動推進員、学校運営協議会委員、学校ボランティア、家庭教育支援者、教職員、行政職員など、約７０名の幅広い立場の方々のご参加をいただきました。

「子ども達の笑顔を育む地域と学校の連携・協働とは
～真庭市・真庭市立余野小学校・真庭市立天津小学校の取組を通して～」

実践発表者

素晴らしい実践発表をありがとうございました。

【真庭市教育委員会生涯学習課】
大久保　孝晃　主事　（左）
辻　祥恵　統括推進員（右）

【真庭市立余野小学校】
藤田　亮太　推進員（左）
内田　和子　教頭　（右）

【真庭市立天津小学校】
上山　京子　推進員（左）
木下　聡子　校長　（右）

☆*真庭市では*地域学校協働活動統括推進員を配置し、推進員のための研修会議を設定し、推進員どうしのつながりづくり、情報共有による活動の充実を図っています。

☆*余野小学校では*途絶えていた地域の行事（霜月祭）の復活に向けた取組を教育課程に位置付けました。学校目標に沿って、どんな子ども達を育んでいくのかを地域と学校が共有し、活動しています。

☆*天津小学校では*学校の要望で「天津音頭」を地域の方々が子ども達に伝承しました。運動会では、子ども達、保護者、地域の皆さんが総踊り。地区の盆踊りも親子での参加が増え、地域を元気にしています。

参加者の声

グループ協議では、**「地域と学校の対話」**について交流しました。

・他の地区の活動を知ることは大切。子ども達をまん中にして、学校と地域とで目標をしっかりと共有していきたい。（推進員）
・色々な立場の方としっかりと対話することの大切さを学んだ。子ども達の意見をすいあげ、「子どもまん中」の取組にしたい。（教職員）

・ボランティアの確保が難しい。様々な会で活動を知っていただき、ハードルを下げ関わってもらえるようにしたい。（推進員）
・他の学校の取組の様子は大変参考になるので、これからも事例を聞かせていただきたい。（学校運営協議会委員）
・貴重な学びの機会をありがとうございました。私自身も将来推進員として、何かやってみたいと思うきっかけをいただきました。（一般）
・学校運営協議会担当者との連携を図っていきたい。（行政職員）